

科目名		建築施工 I			
担当教員		仁多見 透		実務授業の有無	有
対象学科		建築デザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	講義	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		建築現場における施工計画とプロセス、管理方法など工事の進め方と、基本的な仕組みを座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築施工の概要と建築物の基礎の重要性を学ぶ。 2. 建築設計と関係が深いことを認識し、環境に適した各工法の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。			
学習目標 (到達目標)		ここではその種類の施工方法や製品管理の仕方、材料の種類など詳しく学び、それが理解できる様になる。工事方法を通じ建築に必要な専門用語も習得していく。 また、2級建築士の筆記試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		学芸出版			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	鉄筋工事 ①材料 ②加工 ③組立 ④かぶり厚さ			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 65～p 70 達成目標：加工法と組立、かぶり厚の重要性を理解する	
2	鉄筋工事 ⑤定着 ⑥継手 ⑦配筋検査 評価小テスト1			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 71～p 76 達成目標：定着寸法、継手方法、配筋検査の時期を理解する	
3	型枠工事 ①材料 ②荷重 ③組立			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 76～p 79 達成目標：型枠材と名称、荷重、組立順序について理解する	
4	型枠工事 ④解体 ⑤支柱盛替え ⑥型枠の合理化 評価小テスト2			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 80～p 81 達成目標：せき板・支保工の解体時期について理解する	
5	コンクリート工事 ①用語 ②種類 ③レディーミクストコンクリート ④発注 ⑤運搬			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 82～p 86 達成目標：生コン製造～運搬までの手順を理解する	
6	コンクリート工事 ⑥受入検査委 ⑦コンクリートポンプ ⑧打込み準備 ⑨打込み ⑩締め ⑪打継			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 82～91 達成目標：受入検査～打込み～締めまでの手順を理解する	
7	コンクリート工事 ⑫養生 ⑬強度管理 ⑭欠陥とその対策 ⑮ひび割れ対策 評価小テスト3			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 92～p 96 達成目標：コンクリートの強度管理、品質管理を理解する	
8	鉄骨工事 (工場作業) ①材料 ②工作準備 ③加工 ④組立 ⑤溶接 ⑥塗装			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 97～p 101 達成目標：工場での加工手順と留意事項を理解する	
9	鉄骨工事 (現場作業) ⑦アンカーボルト ⑧ベース仕上げ ④建て方 ⑤ボルト接合			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 101～p 106 達成目標：現場での作業手順と留意事項を理解する	
10	鉄骨工事 ⑥デッキプレート ⑦耐火被覆 評価小テスト4			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 p 107 達成目標：現場での作業手順と留意事項を理解する	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価小テスト	授業姿勢	出席状況		施工は建築設計に必要な知識として建築基礎知識を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。	
80 %	10 %	10 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築施工管理技術者として16年勤務			